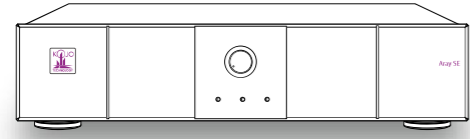


model Aray MK II SE



付属品 1

1.1 入力コード

本装置の入力コードです。本装置後面の入力インレットに接続して使用します。



1.2 変換プラグ

家庭用電源コンセントが2極（アースなし）コンセントの場合、付属の入力コードに接続して使用します。



1.3 保証書

必ずお読みになり、大切に保管してください。修理の際、必要になる場合があります。

保証書

1.4 アース線

アース線（約2m）です。家庭用電源コンセントにアース端子が設けられていない場合に、延長してお使いください。



1.5 OPERATIONS MANUAL（本書）

必ずお読みになり、不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見られる場所に保管してください。

安全上の注意 2

2.1 安全にお使いいただくために

本マニュアルおよび製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために記号表示が使われています。その意味は次のとおりです。内容を理解し、本マニュアルおよび製品をお使いください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

本製品または接続された機器から、煙が出たり、変な臭いや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。感電・火災の原因になります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはカスタマーサポートセンターにご相談ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

お客様による分解や改造はしないでください。けがや感電・火災の原因となります。

指定外の電源では使用しないでください。指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

通気孔などの開口部から内部に物を差し込んだり、落としたりしないでください。感電の原因となります。

異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。感電・火災の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、販売店、カスタマーサポートセンターにご相談ください。

破損した電源コードを使用しないでください。感電・火災の原因となります。電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- ・電源コードを加工しない
- ・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- ・電源コードの上に重いものを載せない
- ・熱器具の近くに配線しない

電源コードが破損したら、販売店またはカスタマーサポートセンターにご相談ください。

電源プラグおよび製品の出力コンセントを取り扱う際は、次の点を守ってください。取り扱いを誤ると火災の原因になります。

- ・電源プラグおよび出力コンセントは、埃などの異物が付着したまま差し込まない
- ・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む
- ・出力コンセントをショート（短絡）しない

雷が鳴りだしたら、電源プラグを触らないでください。感電の原因となります。

注意

小さなお子様の手の届くところには設置、保管しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。

不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。

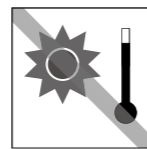
湿気や埃の多い場所に置かないでください。感電・火災の危険があります。

本製品の通気孔をふさがないでください。通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。設置する際は、次の点を守ってください。

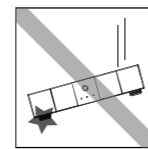
- ・押入れや本箱など風通しの悪いところには設置しない
- ・じゅうたんや布団の上には設置しない
- ・毛布やテーブルクロスのような布をかけない

製品保護上の注意 3

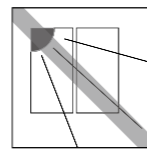
本製品は精密な機械です。故障や誤動作の原因となりますので、次の注意事項を必ず守って、本製品を正しく取り扱ってください。



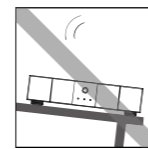
温度が高すぎるころや、低すぎるころには置かないでください。故障、誤動作の原因となります。



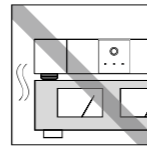
移動するときは、振動や衝撃を与えないようにしてください。故障、誤動作の原因となります。



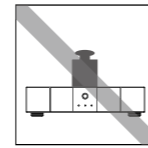
直射日光の当たる場所や、高温・多湿となる所には置かないでください。故障、誤動作の原因となります。



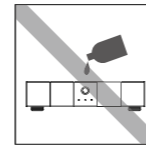
他の機械の振動が伝わるころなど、振動しがちな場所には置かないでください。故障、誤動作の原因となります。



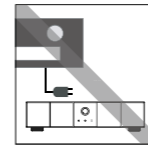
発熱器具の上に置かないでください。故障、誤動作の原因となります。



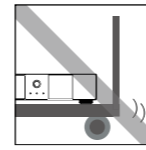
本製品の上には重いものを載せないでください。重圧により、故障、誤動作の原因となります。



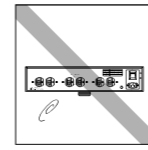
本製品の汚れを取るときは、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わずに、中性洗剤で軽く拭き取ってください。



本製品の出力コンセントには、定格容量(1kVA)以上の機器を接続しないでください。故障、誤動作の原因となります。



遠隔地に輸送するときや保管するときは、裸のまま行わないでください。衝撃や振動、埃などから守るため、梱包箱に入れてください。

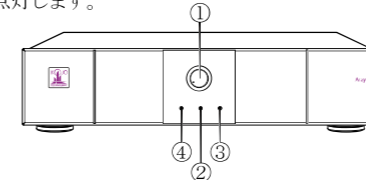


本製品の出力コンセントをクリップや線材(金属製のもの)でショートしないでください。故障、誤動作の原因となります。

各部の名称と働き 4

4.1 装置前面

- ①電源スイッチ:本電源装置出力電圧の入/切をします。
- ②電源ランプ:電源を入れると点灯します。
- ③過負荷警告ランプ:供給電力が多い時に点灯します。(異常警告ランプ同時点灯)
- ④異常警告ランプ:過負荷、出力過大/過小電圧、内部温度上昇時に点灯します。

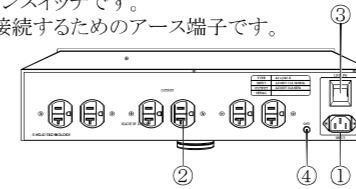


過負荷警告ランプ	異常警告ランプ	原因	対処
点灯	点灯	電源の出力容量を越えています。	定格出力容量以下になるよう機器を接続しなおし、電源を再投入してください。
消灯	点灯	出力過大/過小、内部温度上昇が考えられます。	通気性の良い環境に設置しなおし、暫くしてから電源を再投入してください。

※電源再投入後も同様の現象が発生する場合は、販売店または弊社にお問合せください。

4.2 装置背面

- ①入力インレット:本電源装置の入力コネクタです。
- ②出力コンセント:本電源装置の出力コンセント(6ヶ口)です。
- ③LINE SW.:入力ラインスイッチです。
- ④アース端子:大地へ接続するためのアース端子です。

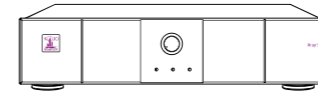


設置および接続 5

本機を安全な場所に設置し、入力コードや負荷機器を接続して使用できる状態にする手順を説明します。

5.1 設置

本電源装置の設置場所（丈夫で水平な専用ラックなど）を決めて設置します。設置の際は、床面とのスペースがインシュレータ以上の高さになるようにしてください。標準のインシュレータは、内部の温度上昇を防ぐ最低限の高さとなっています。



不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。落下したり、倒れたりして、けがをする危険があります。

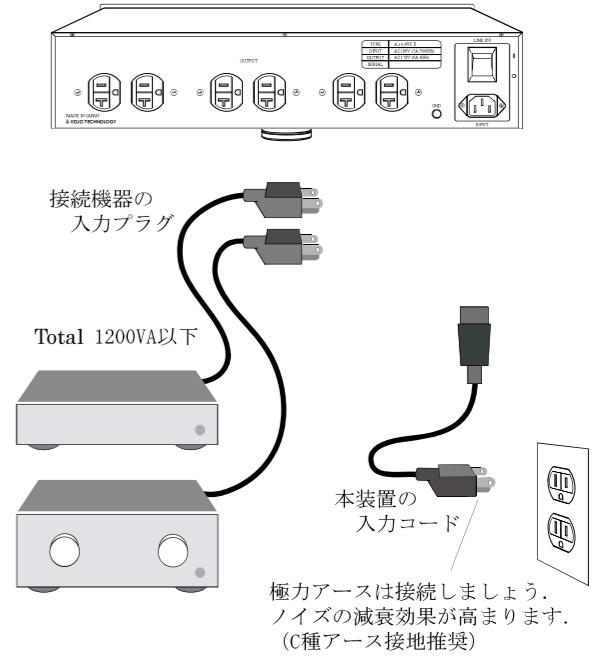
本製品の通気孔をふさがないでください。通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。設置する際は、次の点を守ってください。

- ・押入れや本箱など風通しの悪いところには設置しないでください
- ・じゅうたんや布団の上には設置しないでください
- ・毛布やテーブルクロスのような布をかけない

故障や誤動作を防ぐため、「製品保護上の注意」にある注意事項を守って設置場所を決めてください。

5.2 入力コードおよび負荷機器の接続

本電源装置の電源スイッチおよび背面のLINE SW.をオフにした状態で、下図のように接続します。接続可能な機器は、入力容量（消費電力）が1200VA以下の機器に限ります。



指定外の電源では使用しないでください。指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

電源プラグおよび製品の出力コンセントを取り扱う際は、次の点を守ってください。取り扱いを誤ると火災の原因になります。

- ・電源プラグおよび出力コンセントは、埃などの異物が付着したまま差し込まない
- ・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む
- ・出力コンセントをショート（短絡）しない

5.3 本電源装置の使い方

設置および各種電源コード接続後背面のLINE SW.をオンにし、接続機器の電源スイッチ、ならびに本電源装置の電源スイッチをオンにします。

仕様 6

型名	ArayMKII SE
出力容量	1200VA
出力電圧	100Vac
出力周波数	60Hz
出力波形	正弦波
入力電圧	100Vac±10%
入力容量	1500VA
無負荷時消費電力	30W
その他機能	出力過負荷 出力過大/過小電圧 内部温度上昇: 80℃ サージ耐量: 1000A(8/20 μ sec)
寸法	W:432 H:88 D:351 [mm] (突起物含まず)
重量	約14kg

デザイン・仕様等は、予告なく変更されることがあります。予めご了承ください。

KOJO TECHNOLOGY

製造元 株式会社光城精工
〒036-0101 青森県平川市大光寺一滝本54-1

TEL 0172-44-4560

問合せ先 株式会社光城精工 電源事業部

〒036-0164 青森県平川市松崎西田43-4

TEL 0172-43-0050 E-mail info@kojo-seiko.co.jp